SLジャパン

日立製作所が広域監視システムに「SL-GMS」を適用展開

リアルタイム監視制御システムのダイナミックGUIとエディタ技術で業界をリードするSL ジャパンは、日立製作所 情報制御システム社（以下、日立）の上下水道情報制御システム基盤「AQUAMAXシリーズ」の「AQUAMAX-web」に、米SL社の「SL-GMS Developer for .NET」製品が適用されたことを発表した。これまで同シリーズの「AQUAMAX-AZ/SP」監視制御システムで採用されてきたSL-GMSを、今回新たにAQUAMAX-web広域監視システムに展開し、管制室からのリアルタイムなグラフィック監視画面を、情報系部門においてもWeb閲覧できるようになった。

21世紀は環境と水の時代といわれる中、安心・安全・快適な水環境の創出に貢献している日立では、情報制御システム基盤のAQUAMAXシリーズ上に、水処理プロセス、水運用、水質管理、施設管理に関して長年培ってきた情報制御ノウハウをソリューションとして提供している。その中心的で段階的増設が可能な監視制御プラットフォーム・システム（AQUAMAX-AZ/SP）に、Microsoft .NETをベースとしたSL-GMS Developer for .NETとCustom Editor for .NETを採用している。今回のAQUAMAX-webは、SL-GMSで開発されたAQUAMAX-AZ/SPのHMI資産を展開させたものである。

広域監視システムAQUAMAX-webは、上下水道事業の広域化・統合化や業務委託などにより、中央管制室における運転状況を、庁舎や管理事務所、委託会社などのオフィス分散拠点から夜間や休日など時間を問わず閲覧し、浄水場やポンプ場などの水道局施設全体を監視・維持管理できる必要性に応えるものである。サーバなどの主要な装置は二重化が可能であり、地域的に点在するサービス・センターなどへ、リアルタイムで監視データを配信し、情報の共有化を図っている。

㈱SLジャパン　URL：http://www.sl-j.co.jp/

日本オラクル

ユニヘアーが新統合基幹システムにERPパッケージを採用

日本オラクルは、ユニヘアーが新統合基幹システムにERPパッケージ「Oracle E-Business Suite R12.1」、オラクルのミドルウェア製品とデータベース製品を採用し、経営管理基盤構築に着手することを発表した。

ユニヘアーは、2010年9月に男性・女性向けにオーダーメイド・ウィッグや育毛・増毛サービスを提供するアデランス、女性向けにレディメイド・ウィッグやポステ（付け毛）などを提供するフォンテーヌと2社の親会社であるアデランスホールディングスの3社が統合された会社である。会社統合により、ユニヘアーとしてのいっそうの拡大と成長を目指している。

従来それぞれの事業会社で個別の業務プロセスとそれに沿ったシステムを運用しており、グループ内での円滑な情報連携が難しく、またシステムの老朽化による業務変革への迅速な対応が困難であるなどの課題を抱えていた。同社では事業所や部門毎における個別最適に注力してきたため、グループ内での業務機能の重複や各社各部門独自の業務プロセスと属人的運用が増加傾向にあり、業務効率や生産性の低下も懸念されていた。これらの課題を解決するために、グループ全体の状況を包括的かつリアルタイムに把握することができる全社最適の仕組みとして、新統合基幹システムの構築を決定した。

新統合基幹システムでは、業務面における業務作業の整理と標準化、業務機能と担当部署の整理と再編、システム面における分散した国内システムの統合、それによる透過的な経営情報管理が求められた。Oracle E-Business Suite R12.1により構築されるシステムは、財務会計、販売管理、購買調達、在庫管理などの業務を網羅し、経営情報の可視化、ガバナンスの高度化、IFRSへの対応、業務の省力化、在庫低減などの効果が期待されている。

日本オラクル㈱　E-mail：pr-room_jp@oracle.com